



Keihin Anniversary

1956 to 2016

株式会社ケーヒン
2016年度第2四半期決算説明会
2016年11月8日

1

18:30～ 出席者のご紹介

2

18:35～ 概要説明 2016年度第2四半期決算および
2016年度業績見通し

3

18:50～ 詳細説明 2016年度第2四半期決算および
2016年度業績見通し

4

19:05～ 質疑応答

(19:30 終了予定)

2016年度第2四半期決算および 2016年度業績見通し 概要説明

代表取締役社長
横田 千年

- ▶ ホンダ「アコード」に当社開発のパワーコントロールユニットなどが搭載(16年5月)
- ▶ 北米で発売された ホンダ「Ridgeline」に当社製品が搭載(16年5月)
- ▶ 北米で発売された ACURA「NSX」に当社製品が搭載(16年5月)
- ▶ 北米で発売された FORD「Fusion」に当社製品が搭載(16年6月)
- ▶ 中国で発売された ACURA「CDX」に当社製品が搭載(16年7月)
- ▶ 日本で発売された ホンダ「フリード」に当社製品が搭載(16年9月)
- ▶ インドネシアで発表された ホンダ「CBR250RR」に当社製品が搭載(16年7月)

ACURA「NSX」搭載製品



エンジン制御用
電子制御ユニット



モーター制御用
電子制御ユニット



電子制御
スロットルボディ



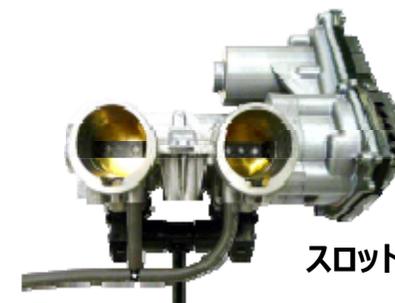
インテークサウンドコントロール用
電子制御ユニット

FORD「Fusion」搭載製品



コンデンサー

ホンダ「CBR250RR」搭載製品



スロットルボディ



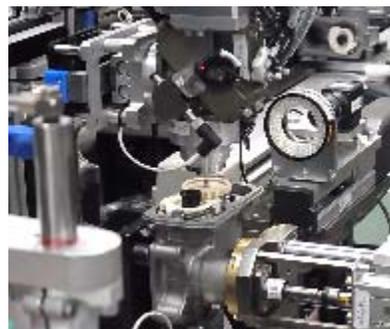
電子制御ユニット

- ▶ 内製設備・ロボットを導入した四輪車用電子制御スロットルボディの自動化生産ラインが日本で本格稼動(16年5月)
- ▶ Volkswagen Groupより、当社子会社の株式会社ケーヒン・サーマル・テクノロジーが、日本企業として唯一「Volkswagen Group Award 2016」を受賞(16年6月)

内製ロボットなどを導入した自動化ラインが稼動



四輪車用
電子制御スロットルボディ



内製設備・ロボットを導入し自動化した
モーター・センサー組み付け工程

Volkswagen Group Award 2016 を受賞



ケーヒン・サーマル・テクノロジー
が開発・生産した
自動車空調用コンデンサー



[IFRS] (単位：億円)

	2015年度 第2四半期実績	2016年度 第2四半期実績	増減	増減率
売上収益	1,712.5	1,564.5	△148.0	△8.6%
※主要顧客外売上比率	14.3%	15.0%		
営業利益	112.1	121.9	9.8	8.8%
※営業利益率	6.5%	7.8%		
税引前四半期利益	106.9	104.0	△2.9	△2.7%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	45.5	41.6	△3.9	△8.5%
1株当たり配当金	18円	※20円	2円増配	—
※配当性向	29.3%	35.6%	※中間配当：創立60周年記念配当1円を含む	
為替レート(1米ドル)	121.73円	105.76円	15.97円高	—
車両台数 (合計)	2,123万台	2,203万台	80万台	3.8%増
二輪車・汎用	1,639万台	1,635万台	△5万台	0.3%減
四輪車	483万台	568万台	85万台	17.6%増

- 売上収益：アジアでの二輪車製品の販売増加や日本と中国での四輪車製品の販売増加はあるものの、為替換算上の影響により減収
- 営業利益：減価償却費や労務費の増加、為替影響などはあるものの、販売増加や合理化効果などにより増益

(注：億円表示の数値は、百万円以下を四捨五入しております。)

● グローバル生産台数見通し

2016年5月13日発表資料

	2015年度		2016年度見通し	
二輪車・汎用	9,430万台		9,450万台	0.2%増
四輪車	8,864万台		9,140万台	3.1%増

● 当社計画台数

	2015年度		2016年度見通し			
			上期実績	下期見通し	通期見通し	
全体	4,257万台		2,203万台	2,267万台	4,470万台	5.0%増
二輪車・汎用	3,222万台		1,635万台	1,670万台	3,305万台	2.6%増
四輪車	1,034万台		568万台	597万台	1,165万台	12.7%増

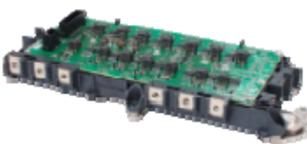
- ▶ 米州でガソリン直噴エンジン対応インジェクターの生産ラインの能力拡大と生産効率向上を行い、年間400万本を供給する体制を確立(16年11月)
- ▶ 日本でガソリン直噴エンジン対応インジェクターの生産ラインを増設し、生産能力を拡大(16年冬予定)
2015年度末 300万本/年間 → 2016年度末(計画) 600万本/年間
- ▶ 日本でハイブリッド車用パワーコントロールユニットの生産能力を拡大(16年冬予定)
- ▶ 日本で発売される軽自動車向けに、新開発の小型・軽量の空調ユニットの量産準備を開始(16年度末予定)

● パワーコントロールユニット(PCU)の生産能力拡大

● 軽自動車向け空調ユニットの量産準備開始



インテリジェントパワーモジュール生産ライン



インテリジェント
パワーモジュール



PCUアッセンブリライン



パワーコントロールユニット

PCUの生産能力

15年度末	16年度末
5万台	10万台



※鈴鹿工場に生産準備に向けて設備導入

[IFRS] (単位：億円)

	2015年度 実績	2016年度 見通し	増減	増減率
売上収益	3,415.8	3,080.0	△335.8	△9.8%
※主要顧客外売上比率	14.1%	14.9%		
営業利益	164.4	235.0	70.6	42.9%
※営業利益率	4.8%	7.6%		
税引前利益	155.5	216.0	60.5	38.9%
親会社の所有者に帰属する当期利益	56.8	116.0	59.2	104.3%
1株当たり配当金	36円	※40円	4円増配	—
※配当性向	46.9%	25.5%	※2016年度配当：創立60周年記念配当2円を含む	
為替レート(1米ドル)	119.95円	103.02円	16.93円高	—
車両台数 (合計)	4,257万台	4,470万台	213万台	5.0%増
二輪車・汎用	3,222万台	3,305万台	82万台	2.6%増
四輪車	1,034万台	1,165万台	131万台	12.7%増

- 売上収益：アジアでの二輪車製品の販売増加や日本と中国での四輪車製品の販売増加はあるものの、為替換算上の影響により減収
- 営業利益：為替影響はあるものの、販売増加にくわえ、国内事業体質強化施策の効果や合理化効果により増益

(注：億円表示の数値は、百万円以下を四捨五入しております。)

2016年度第2四半期決算および 2016年度業績見通し 詳細説明

取締役 管理本部長
重本 昌康

2016年度第2四半期決算 詳細説明

[IFRS] (単位：億円)

	2015年度 第2四半期実績	2016年度 第2四半期実績	増減額	増減率
売上収益	1,712.5	1,564.5	△148.0	△8.6%
二輪車・汎用製品	440.1	391.4	△48.7	△11.1%
四輪車製品	1,272.4	1,173.1	△99.3	△7.8%
営業利益	112.1	121.9	9.8	8.8%
税引前四半期利益	106.9	104.0	△2.9	△2.7%
法人所得税費用	50.5	51.4	0.9	1.9%
四半期利益	56.4	52.6	△3.8	△6.8%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	45.5	41.6	△3.9	△8.5%

為替レート

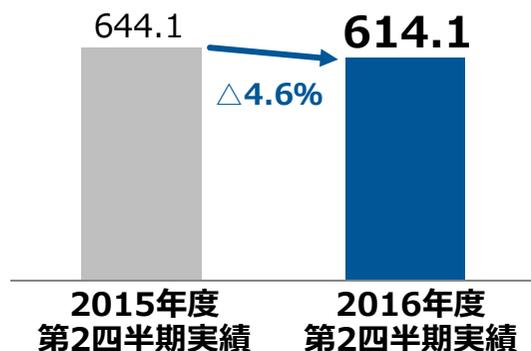
1米ドル	121.73円	105.76円	15.97円高
1タイバーツ	3.52円	3.01円	0.51円高
1中国元	19.43円	15.92円	3.51円高
1インドルピー	1.90円	1.58円	0.32円高
1インドネシアルピア(100単位レート)	0.90円	0.80円	0.10円高
1ブラジルレアル	36.25円	31.40円	4.85円高

(注：億円表示の数値は、百万円以下を四捨五入しております。)

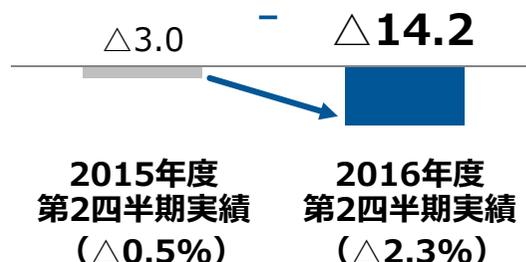
[IFRS] (単位：億円)
() 内は営業利益率

日本

< 売上収益 >



< 営業利益 >



トピックス

- ホンダ「アコード」に当社のパワーコントロールユニットが搭載
- ホンダ「フリード」に多数の製品が搭載
- 四輪車用電子制御スロットルボディの自動化生産ラインが本格稼動

< 売上収益 >

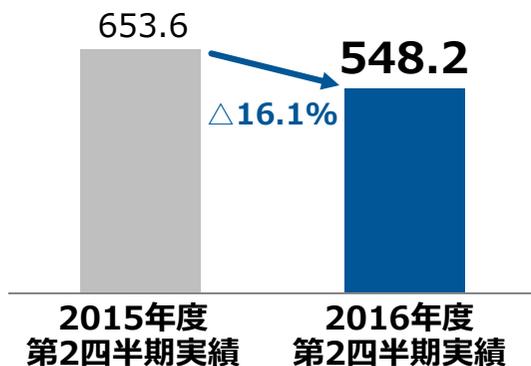
国内での四輪車製品や、中国・欧州での空調用熱交換器領域の販売増加はあるものの、二輪車製品の販売減少や為替換算上の影響により減収

< 営業利益 >

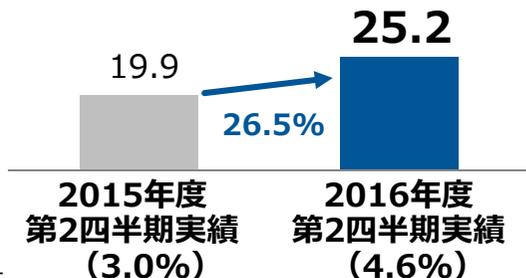
国内事業体質強化施策の効果はあるものの、為替影響により減益

米州

< 売上収益 >



< 営業利益 >



トピックス

- ホンダ「Ridgeline」、ACURA「NSX」に米州で生産している多数の製品が搭載

< 売上収益 >

南米での二輪車製品の販売減少にくわえ、北米での販売単価の影響や為替換算上の影響により減収

< 営業利益 >

減収影響はあるものの、北米と中米での事業性改善や合理化効果などにより増益

※：掲載数値は地域間の内部売上収益を含む金額です。

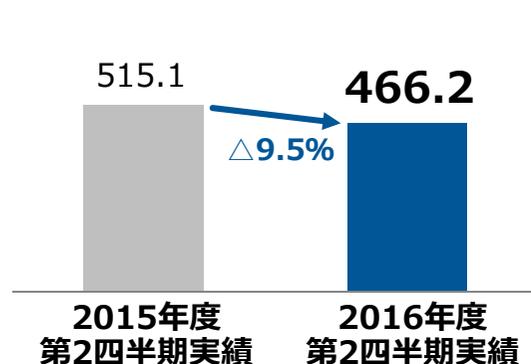
※：億円表示の数値は、百万円以下を四捨五入しております。

※：従来、株式会社ケーヒン・サーマル・テクノロジーグループ5社は、「日本」セグメントに含めておりましたが、第1四半期連結累計期間より、5社のうち北米とタイの2社について、空調事業の生産拠点と地域本部との連携強化のため、米州及びアジアの地域本部で管理することとしたため、それぞれ「米州」、「アジア」セグメントに含めております。このセグメント区分の変更に伴い、2015年度第2四半期実績のセグメント情報についても組み替えて表示しております。

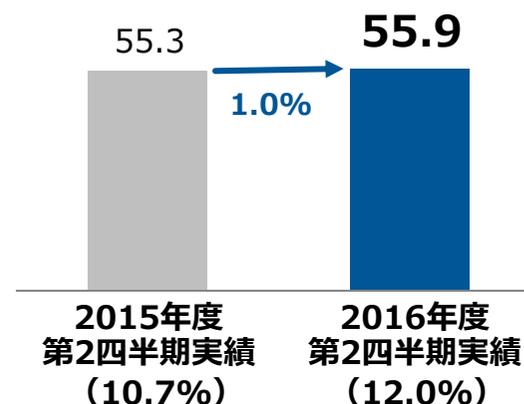
[IFRS] (単位：億円)
() 内は営業利益率

アジア

< 売上収益 >



< 営業利益 >



< 売上収益 >

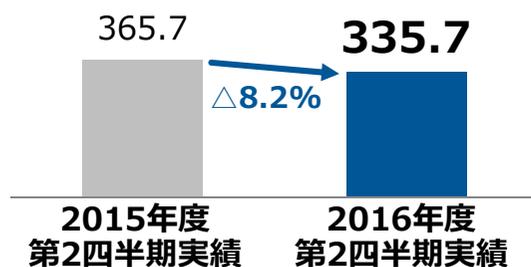
インドネシアやベトナム、インドでの二輪車製品の販売増加や、タイやインドネシアでの四輪車製品の販売増加はあるものの、為替換算上の影響により減収

< 営業利益 >

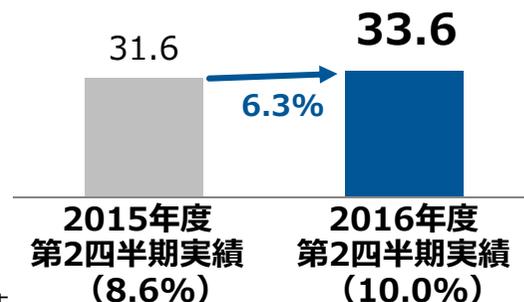
為替影響はあるものの、二輪車製品および四輪車製品の販売増加や合理化効果により増益

中国

< 売上収益 >



< 営業利益 >



トピックス

- ACURA「CDX」に中国拠点で生産している製品が搭載

< 売上収益 >

主に四輪車製品の販売増加はあるものの、為替換算上の影響により減収

< 営業利益 >

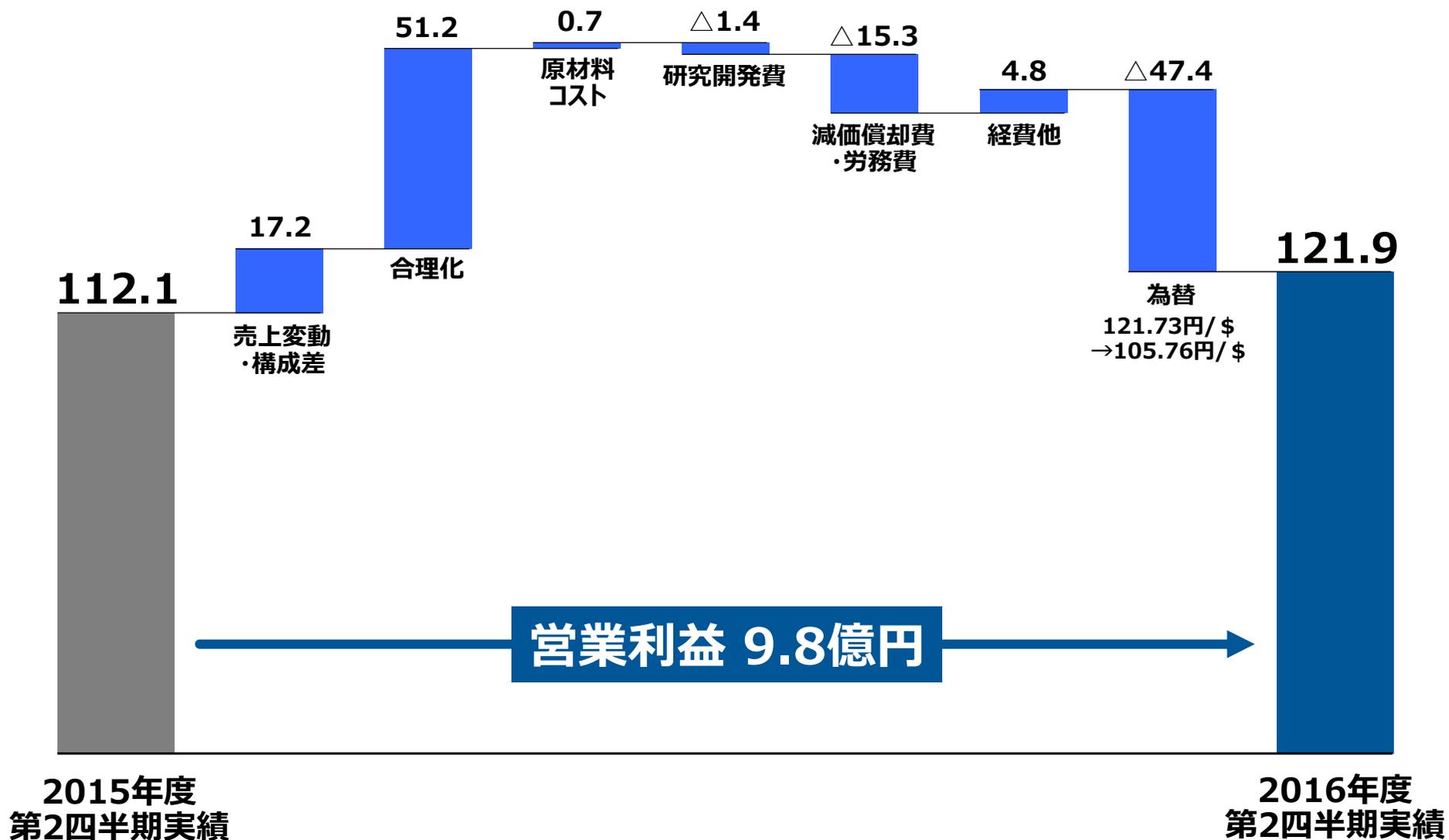
為替影響はあるものの、主に四輪車製品の販売増加や合理化効果により増益

※：掲載数値は地域間の内部売上収益を含む金額です。

※：億円表示の数値は、百万円以下を四捨五入しております。

※：従来、株式会社ケーヒン・サーマル・テクノロジーグループ5社は、「日本」セグメントに含めておりましたが、第1四半期連結累計期間より、5社のうち北米とタイの2社について、空調事業の生産拠点と地域本部との連携強化のため、米州及びアジアの地域本部で管理することとしたため、それぞれ「米州」、「アジア」セグメントに含めております。このセグメント区分の変更に伴い、2015年度第2四半期実績のセグメント情報についても組み替えて表示しております。

[IFRS] (単位：億円)



(注：億円表示の数値は、百万円以下を四捨五入しております。)

(単位：億円)

	2015年度 第2四半期実績	2016年度 第2四半期実績	増減額	増減率
設備投資額	57.9	66.2	8.3	14.3%
減価償却費	85.1	82.3	△2.8	△3.2%
研究開発費	99.8	100.0	0.2	0.2%
対連結売上収益 研究開発費比率	5.8%	6.4%	—	—

【設備投資】

新機種投資は減少するものの、ガソリン直噴エンジン対応インジェクターの供給体制拡充に向けた投資により増加

【減価償却費】

先進環境製品の立ち上がりによる増加はあるものの、為替影響により減少

【研究開発費】

将来に向けた研究開発を継続的に強化

(注：億円表示の数値は、百万円以下を四捨五入しております。)

為替影響		影響額
	1米ドル	△21.0億円
	1タイバーツ	0.4億円
	1中国元	△2.8億円
	1インドルピー	△0.5億円
	1インドネシアルピア	0.9億円
	1ブラジルリアル	△0.1億円
	その他	△0.8億円
売上レート差 *1 (営業利益段階)		△23.9億円
売上/入金レート差 *2 (金融収支)		△13.9億円
小 計		△37.8億円
為替換算差 *3 (税引前利益段階)		△22.6億円
合 計		△60.4億円
	営業利益段階	△47.4億円
	金融収支	△12.9億円

2015年度 第2四半期実績	2016年度 第2四半期実績	レート差
121.73円	105.76円	15.97円高
3.52円	3.01円	0.51円高
19.43円	15.92円	3.51円高
1.90円	1.58円	0.32円高
0.90円	0.80円	0.10円高
36.25円	31.40円	4.85円高

(インドネシアルピアのレートは100通貨単位)

*1:外貨建て売上収益を計上する際のレートの前年同期との差

*2:外貨建て売上収益を計上する際のレートとその売上が入金される際のレートが異なることにより生じる差額の前年同期との差

*3:外貨建て個別財務諸表を連結する際に使用する円換算レートの前年同期との差額

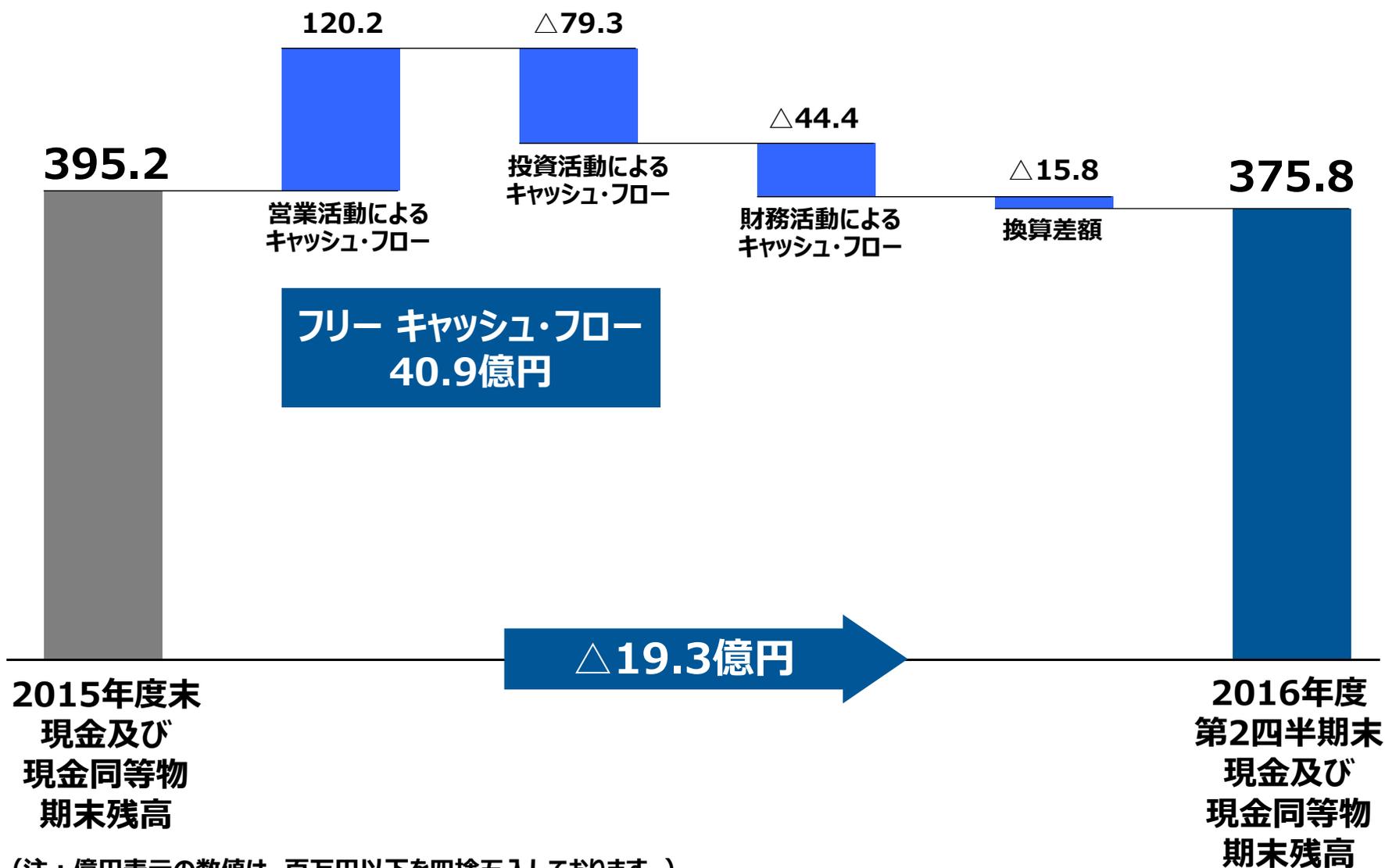
(注: 億円表示の数値は、百万円以下を四捨五入しております。)

[IFRS] (単位：億円)

	2015年度末	2016年度 第2四半期末	増減		2015年度末	2016年度 第2四半期末	増減
資産合計	2,570.7	2,415.0	△155.7	負債及び資本合計	2,570.7	2,415.0	△155.7
流動資産合計	1,429.8	1,347.9	△81.9	流動負債合計	660.7	621.7	△39.0
現金及び 現金同等物	395.2	375.8	△19.3	営業債務及び その他の債務	532.7	504.9	△27.8
営業債権及び その他の債権	549.3	479.2	△70.1	借入金	99.8	84.4	△15.4
棚卸資産	447.8	447.1	△0.8	その他	28.2	32.4	4.2
その他	37.5	45.8	8.3	非流動負債合計	84.8	79.4	△5.3
非流動資産合計	1,140.9	1,067.0	△73.8	借入金	5.6	2.5	△3.1
有形固定資産	959.6	891.0	△68.5	その他	79.1	76.9	△2.2
無形資産	65.6	62.4	△3.2	資本合計	1,825.2	1,713.8	△111.4
その他の金融資産	49.5	46.6	△2.9	親会社の所有者に 帰属する持分合計	1,592.9	1,512.2	△80.7
その他	66.2	67.0	0.8	非支配持分	232.3	201.6	△30.6

(注：億円表示の数値は、百万円以下を四捨五入しております。)

[IFRS]
(単位：億円)



(注：億円表示の数値は、百万円以下を四捨五入しております。)

2016年度業績見通し 詳細説明

(単位：億円)

	2015年度 実績	2016年度 見通し	増減額	増減率
売上収益	3,415.8	3,080.0	△335.8	△9.8%
二輪車・汎用製品	869.9	781.0	△88.9	△10.2%
四輪車製品	2,545.8	2,299.0	△246.8	△9.7%
営業利益	164.4	235.0	70.6	42.9%
税引前利益	155.5	216.0	60.5	38.9%
法人所得税費用	75.7	81.0	5.3	7.0%
当期利益	79.8	135.0	55.2	69.2%
親会社の所有者に帰属する当期利益	56.8	116.0	59.2	104.3%

為替レート

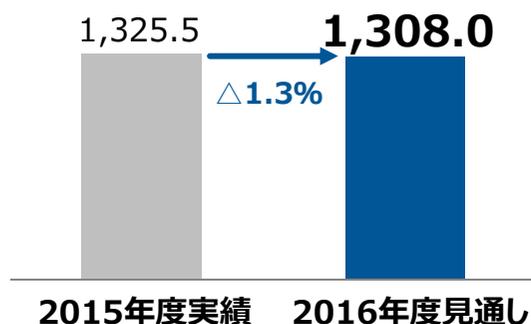
1米ドル	119.95円	103.02円	16.93円高
1タイバーツ	3.42円	2.91円	0.51円高
1中国元	18.80円	15.39円	3.41円高
1インドルピー	1.84円	1.54円	0.30円高
1インドネシアルピア(100単位レート)	0.88円	0.78円	0.10円高
1ブラジルリアル	33.63円	31.20円	2.43円高

(注：億円表示の数値は、百万円以下を四捨五入しております。)

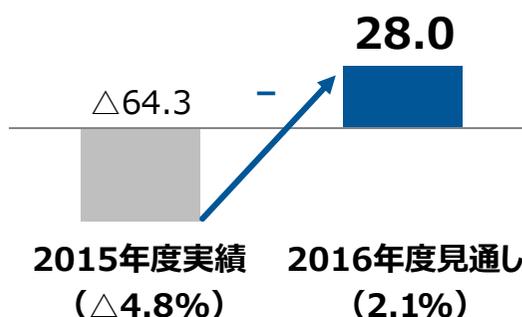
[IFRS] (単位：億円)
() 内は営業利益率

日本

< 売上収益 >



< 営業利益 >



トピックス

- ガソリン直噴エンジン対応インジェクターの生産ライン増設と能力拡大
- ハイブリッド車用パワーコントロールユニットの生産能力拡大

< 売上収益 >

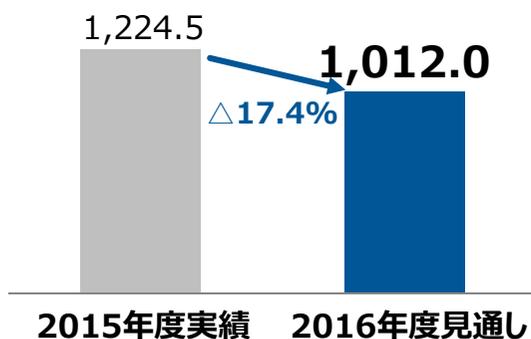
国内での四輪車製品の販売増加はあるものの、為替換算上の影響により減収

< 営業利益 >

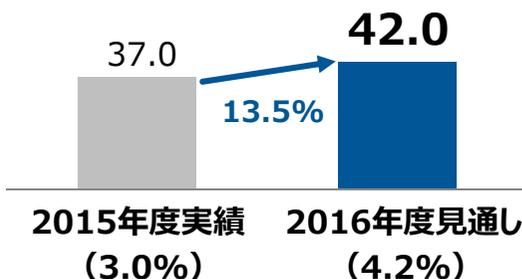
為替影響はあるものの、国内事業体質強化施策の効果により大幅増益

米州

< 売上収益 >



< 営業利益 >



トピックス

- ガソリン直噴エンジン対応インジェクターの生産能力と生産効率を向上

< 売上収益 >

販売単価の影響に比べ、為替換算上の影響により減収

< 営業利益 >

減収影響はあるものの、北米と中米での事業性改善や合理化効果などにより増益

※：掲載数値は地域間の内部売上収益を含む金額です。

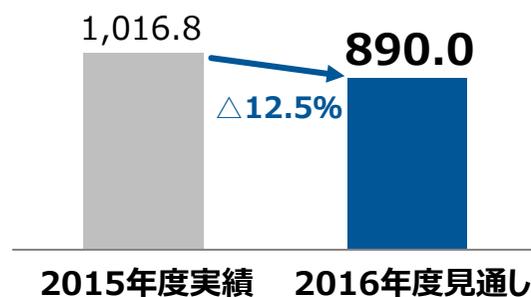
※：億円表示の数値は、百万円以下を四捨五入しております。

※：従来、株式会社ケーヒン・サーマル・テクノロジーグループ5社は、「日本」セグメントに含めておりましたが、第1四半期連結累計期間より、5社のうち北米とタイの2社について、空調事業の生産拠点と地域本部との連携強化のため、米州及びアジアの地域本部で管理することとしたため、それぞれ「米州」、「アジア」セグメントに含めております。このセグメント区分の変更に伴い、2015年度実績のセグメント情報についても組み替えて表示しております。

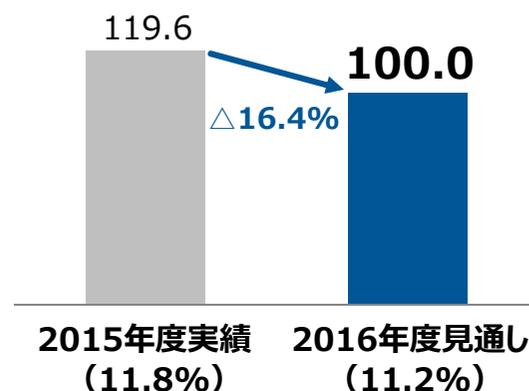
[IFRS] (単位：億円)
() 内は営業利益率

アジア

< 売上収益 >



< 営業利益 >



< 売上収益 >

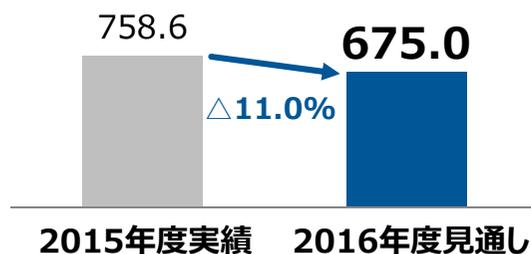
二輪車製品および四輪車製品の販売増加はあるものの、為替換算上の影響により減収

< 営業利益 >

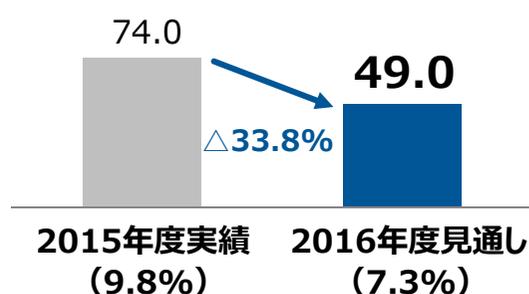
二輪車製品および四輪車製品の販売増加や合理化効果はあるものの、為替影響により減益

中国

< 売上収益 >



< 営業利益 >



< 売上収益 >

主に四輪車製品の販売増加はあるものの、為替換算上の影響により減収

< 営業利益 >

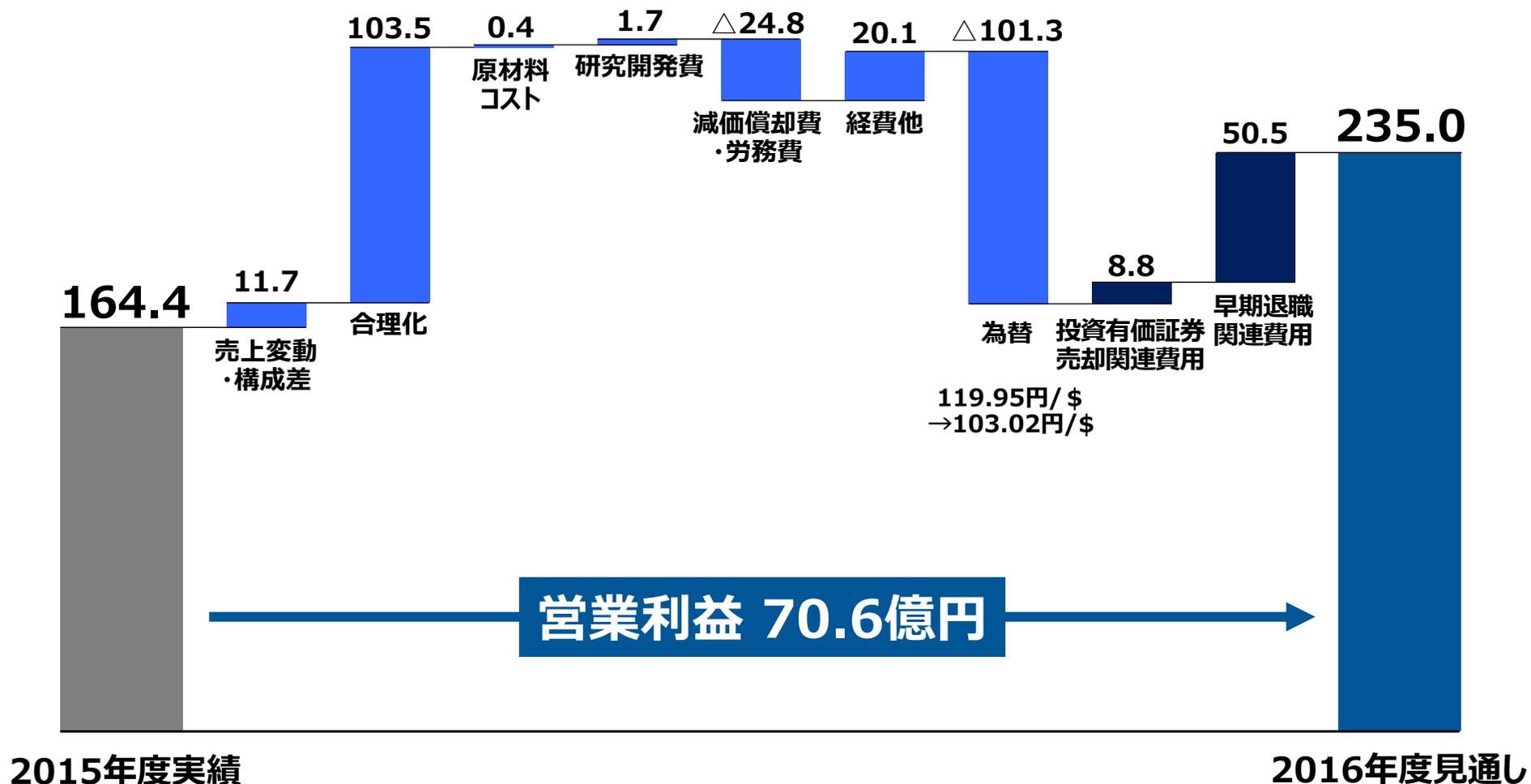
主に四輪車製品の販売増加や合理化効果はあるものの、為替影響により減益

※：掲載数値は地域間の内部売上収益を含む金額です。

※：億円表示の数値は、百万円以下を四捨五入しております。

※：従来、株式会社ケーヒン・サーマル・テクノロジーグループ5社は、「日本」セグメントに含めておりましたが、第1四半期連結累計期間より、5社のうち北米とタイの2社について、空調事業の生産拠点と地域本部との連携強化のため、米州及びアジアの地域本部で管理することとしたため、それぞれ「米州」、「アジア」セグメントに含めております。このセグメント区分の変更に伴い、2015年度実績のセグメント情報についても組み替えて表示しております。

[IFRS]
(単位：億円)



(注：億円表示の数値は、百万円以下を四捨五入しております。)

(単位：億円)

	2015年度実績	2016年度見通し	増減額	増減率
設備投資額	136.1	173.0	36.9	27.1%
減価償却費	173.6	166.0	△7.6	△4.4%
研究開発費	195.6	191.0	△4.6	△2.4%
対連結売上収益 研究開発費比率	5.7%	6.2%	—	—

【設備投資】

ガソリン直噴エンジン対応インジェクターやパワーコントロールユニットなど先進環境製品への需要拡大に対応した供給体制の拡充を図るため増加

【減価償却費】

先進環境製品の立ち上がりおよび供給体制拡充による増加はあるものの、為替影響により減少

【研究開発費】

将来に向けた研究開発を継続的に強化

(注：億円表示の数値は、百万円以下を四捨五入しております。)

為替影響		影響額
1米ドル		△55.0億円
1タイバーツ		0.2億円
1中国元		△6.4億円
1インドルピー		△0.4億円
1インドネシアルピア		2.3億円
1ブラジルリアル		0.0億円
その他		△1.7億円
売上レート差 *1 (営業利益段階)		△61.0億円
売上/入金レート差 *2 (金融収支)		△10.2億円
小 計		△71.2億円
為替換算差 *3 (税引前利益段階)		△39.3億円
合 計		△110.5億円
	営業利益段階	△101.3億円
	金融収支	△9.2億円

2015年度実績	2016年度見通し	レート差
119.95円	103.02円	16.93円高
3.42円	2.91円	0.51円高
18.80円	15.39円	3.41円高
1.84円	1.54円	0.30円高
0.88円	0.78円	0.10円高
33.63円	31.20円	2.43円高

(インドネシアルピアのレートは100通貨単位)

*1:外貨建て売上収益を計上する際のレートの前期との差

*2:外貨建て売上収益を計上する際のレートとその売上が入金される際のレートが異なることにより生じる差額の前期との差

*3:外貨建て個別財務諸表を連結する際に使用する円換算レートの前期との差額

(注: 億円表示の数値は、百万円以下を四捨五入しております。)

ご清聴ありがとうございました

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、対ドルをはじめとする円の為替レート等が含まれます。



Keihin Anniversary

1956 to 2016

次の60年を目指して

＜二輪車用キャブレッター 所在地別販売台数＞

(単位：万台)

	日本	米国	欧州	ブラジル	台湾	タイ	中国	インド	インドネシア	マレーシア	ベトナム	販売台数
2015年度第2四半期実績	6	1	-	15	11	49	99	658	2	4	33	878
2015年度実績	12	2	-	19	18	112	190	1,256	5	9	71	1,694
2016年度第2四半期実績	5	2	-	3	8	60	91	685	4	2	35	895
前年同期比	▲17%	100%	-	▲80%	▲27%	22%	▲8%	4%	100%	▲50%	6%	2%
2016年度見通し	9	4	-	5	14	129	173	1,377	7	3	65	1,786
前年度比	▲25%	100%	-	▲74%	▲22%	15%	▲9%	10%	40%	▲67%	▲8%	5%

＜二輪車用FIシステム 所在地別販売台数＞

(単位：万台)

	日本	米国	欧州	ブラジル	台湾	タイ	中国	インド	インドネシア	マレーシア	ベトナム	販売台数
2015年度第2四半期実績	18	7	2	45	8	75	13	7	223	1	70	469
2015年度実績	42	14	3	81	13	153	28	12	463	2	153	964
2016年度第2四半期実績	17	7	1	40	10	82	16	2	212	2	81	470
前年同期比	▲6%	0%	▲50%	▲11%	25%	9%	23%	▲71%	▲5%	100%	16%	0%
2016年度見通し	40	14	2	77	18	164	34	6	448	5	176	984
前年度比	▲5%	0%	▲33%	▲5%	38%	7%	21%	▲50%	▲3%	150%	15%	2%

(注：FIシステムは二輪車用スロットルボディの台数で集計しております)